実施	平成26年度

# 事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	理科教育設備等整備事業	評価者(担当者) 松野 和博
	基本目標(章) ③人をはぐくむまちづくり	重点
総合計画での位置付け	主要施策(節) (1)学校教育の充実	施策 [4]
[3]	施策区分 (2)生きる力を身につける教育の推進	☑該当
	□ 市長公約 □ 新市建設計画 年月	度予定 金額 千円】
実施の根拠 (複数回答可)	☑ 法令、県·市条例等【 理科教育振興法	1
(5)	□その他の計画【	】 □ 該当なし
事業区分	☑ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備	事業   施設の維持管理事業
<del>事</del> 未込力 【6】	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定事務	
会計区分 [7]	☑ 一般会計 □ 特別·企業会計【	】 款 10 項 1 目 2 細目 11
《事務事業の目的》	<b>»</b>	
事務事業の実施背景		.,
(どのような問題又は ニーズがあるのか) 【8】	理科設備の劣化に伴い、理科教育の整備が遅れているた 	<i>හ</i> ං
- ××× ×× (8)		
対象(誰、何に対して) 【9】	児童、生徒、理科教育設備	
意図(どのような状態に	  各学校において、観察・実験を中心とした理科教育を一層	充実させ、学校教育における理科教育の振興 ・
したいのか)	を図るため。	
[10]		
《事務事業の概要》		
事業期間	□ 単年度のみ □ 単年度繰返し	☑ 期間限定複数年度
[11]		【 H24 年度~ H25 年度まで】
事業主体 [12]		□ その他【 】
実施方法 [13]	☑ 直営   □ 全部委託   □ 一部委託   □ 補目	助金等交付 □ その他【 】
		事務事業を構成する細事業 [15]
		① 理科教育設備等整備事業(24繰)
事務事業の具体的内容	実験機械器具・計量機・野外観測調査用具・模型・標本等	
구·/// 구·사·/ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	の理科教育設備を備品購入し、小中学校に整備する。	3
[14]		4
		(5)

#### 《事務事業実施に係るコスト》

					H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
	事	国庫支出金	50	%			1,411		1,411	
	業費	県支出金		%						
		起債		%						
<b>+</b> Љ	~ 千	受益者負担								
投 入	円	その他								
⊐	)	一般財源				0	1,412		1,412	
スト			[16] 小 言	†		0	0	2,823	0	2,823
		[再掲]臨時·非常勤職員人	件費(-	千円)		0	0			
	職人	職人	職員人工数				0.01	0.04		
	員件	職員の年間平均給与	額(千	千円)	5,685	5,610	5,610	5,610		
	の費	[17] 小言	+	·	0	56	224	0		
	合 計				0	56	3,047	0		

≪事務事業の手段と活動指標≫[18]

事	務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
1	理科教育設備等整備事 業(24繰)	実験機械器具等の理科備 品を購入する。	理科設備等備品購 入数	個		0	141	
2								
3								
4								
<b>⑤</b>								

### **《事務事業の成果》**[19]

	成果指標(意図の数値化)		   計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			日 昇力 広入は 説明		H23実績	H24実績	H25実績	
I			理科における熊本県と玉名市との学力定着率	0/_	72.9	73.7	69.5	
		学校理科)	の比較(目標値に県定着率を記載)		69.3	75.3	70.1	
I	2	熊本県学力調査理科学力定着率(中	理科における熊本県と玉名市との学力定着率	0/	47.1	52.2	40.0	
ı	2	学校理科)	の比較(目標値に県定着率を記載)		47.4	48.2	38.5	

#### 《事務事業の評価》

	評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性〈判定〉	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等 他の団体では実施できない事業か。	□ 問題あり □ 問題なし	
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が 薄れていないか。	□ 問題あり □ 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	□ 影響あり □ 影響なし	
有効	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	□ 達成 □ 未達成	
性	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	□ 余地あり □ 余地なし	
〈判定〉	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<ul><li>□ +分</li><li>□ 不+分</li></ul>	
ţ	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	□ 余地あり □ 余地なし	
効 率 性	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	□ 余地あり □ 余地なし	
İŦ	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	□ 余地あり □ 余地なし	
〈判定〉	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	□ 余地あり □ 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地は ないか。また、対象、負担額等は適切か。	□ 余地あり □ 余地なし	

#### 《今後の方向性と改善》

今後	の方向性 【31】	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小を検討 □ 休止・廃止を検討 □ 細事業の効率化【□ 改善・見直し □ 民間活用 □ 他事業と統合 □ 廃止 】
判断理は 善の	日及び見直し・改 具体的内容	平成25年度をもって終了
昨年からのり	見直し・改善状況 【32】	

## ■評価責任者記入欄■

		評価	責任者
評価責任者(課長)の所見	平成25年度で事業終了である。	林	一男
[33]		1111	71